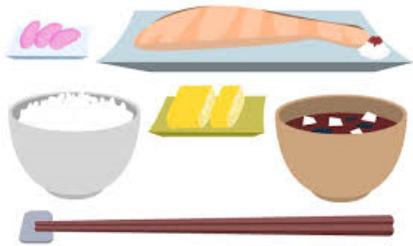


“学びの森”だより

しき そく ぜ くう
色 即 是 空

先日、すごい働き者の方のご家族が、「おじいちゃんは『人生の半分は冗談がいい。』といつも言っていました。」というのです。このおじいちゃんは、自分のことより相手のことを思い、やると決めたら必ずやり遂げる責任感と優しさを持った方です。したがって、家族はもちろん地域の方々からも信頼されていました。

妙な感じでしたが、ふと般若心経の「色即是空」が浮かびました。この世のもの（色）は意味があるようで意味がない（空）という教えです。大切なのは、どう意味づけするかということだそうです。何かよく分かりませんよね。



例えば、大切なお客様が来たとします。そのお客様に、ご飯を出すことになったとします。腕を振るって出されたご飯に、誰もが楽しいひとときを過ごすことでしょう。しかし、実は茶碗が足りず、やむを得ず、家で飼っている犬の茶碗をきれいに洗って出すしかなかったとします。そのことを、黙っていようか、それとも正直に伝えた方が良いのか悩んだ末、「実は・・・」と言ったとたん、おいしかったはずのご飯が、気分が・・・となるでしょう。聞かなければ、知らなければ、おいしくいただいたままでした。

でも、聞いたとたん・・・となります。でも、ご飯や茶碗が、聞いた瞬間に変わるわけではありません。では何が変わったのでしょうか。変わったのは自分そのものです。つまり、価値を決めたのは自分自身ということです。ご飯や茶碗（色）は、意味は後から人がつけたもので、もともと意味がない（空）ということです。人生いろいろなことがありそうですが、この世のことは、すべて意味づけ次第、そして、どう意味づけるかは、自分次第ということでしょう。どうせ生きていくのなら、楽しく意味づけしたいものです。すべてが冗談も、おもしろいかもしれませんが、「人生の半分は冗談がいい。」そのくらいのおおらかな気持ちで過ごしていくのもいいと感じました。

家族に聞けば、とても優しいおじいちゃんなので、二十歳過ぎの孫たちが、おじいちゃんの面倒をよく見ていたとのこと。年の暮れに、そんなおじいちゃんに「ねえ、おじいちゃん、お礼にお年玉ちょうだいね。」と言うと、にこにこ笑って「いいよ。」とってくれたそうです。年が明け期待していたお孫さんに、おじいちゃんは分厚い封筒を渡しました。「こんなに、いいの？」と嬉しいような、申し訳ないような気持ちで、封を開けました。しかし、なんと、そこには、3枚の1000円札と、同じサイズの広告の紙の束が入っていました。「おじいちゃんてば!」「そうか、そうか。」と、にこにこしているおじいちゃんを囲んで、初笑いをしたそうです。もちろん、いつも優しいおじいちゃんだからこそ、大笑いになったわけですが、ユーモアのセンスを忘れないお茶目さに、これまた「色即是空」だと思いました。

さて、忙しい学校がまた始まりました。数年前の会合で、「10の格言より、一つの笑い。」という言葉聞いたことがあります。忙しいからこそ、新型コロナ流行で大変だからこそ、心のゆとりを失わず、笑顔を忘れず、「色即是空」みんなで頑張っていきましょう。

(文責 松山充彦指導員)

第2回 初任者研修会（富一小）

7月16日（木）、今年度採用の小学校教諭8名と、中学校教諭1名が参加し、開催されました。この研修会では、会場校で授業を公開していただき、授業づくりについて意見交換をし深め合うことと、学級づくりについて学び合いました。

＜参加者の感想を一部紹介します。＞

☆事後研修では、グループで考えることで、自分だけでは見つけられなかった子供たちや先生の良いところや、工夫にも気付くことができた。

☆学級づくりの研修では、実際に起こりそうな場面について、ロールプレイングを通して考える中で、同じような悩みや問題を抱えていることが分かり、安心した。また、自分にはないアイデアや考え方も知ることができて、とても参考になった。

☆学級づくり研修では、「育てたように子は育つ」という言葉が印象に残っている。子供にこうあって欲しいという姿で子供と接することが出来るように努力したい。

コロナ禍により、初任者が一堂に会するのは2回目でした。人との交流が制限されている中ですが、初任者同士、また、周囲の先生方と、心から語り合える関係を築いてほしいと願います。



第2回 授業づくり及び評価規準研修会（南小）

8月4日（火）、小学校授業づくり推進リーダー15名と、中学校評価規準推進リーダー25名が参加し開催されました。小学校では、教科ごとに3観点の具体的な評価場面や評価方法について、持ち寄った板書やノートの写真を基に情報交換をし、市内へ発信する準備をしました。中学校では、教科ごとの3観点の捉え方について共通理解するとともに、活用しやすい評価規準表の形式を考え、今後の作業に繋がりました。



編集・発行：“学びの森”
〒410-1102
裾野市深良 435 番地
生涯学習センター 2階
TEL：055-995-4903
FAX：055-995-4904

「学びの森」ホームページ公開中

<http://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/data/2240002>

